

決済サービスで Win-Win

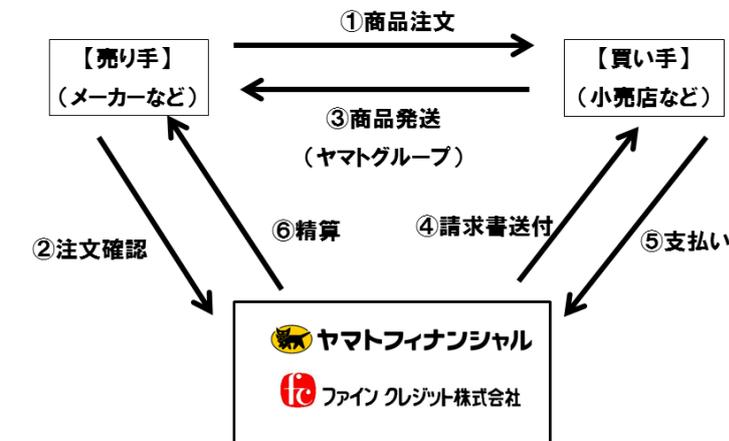
～ ヤマトHD の掛け取引決済サービス ～

小売業は掛け取引が頻繁に行われています。毎日頻繁に行われる商品売買では、決済は手間がかかる上、貸し倒れのリスクがあります。特にメーカーは小売店への決済（お金を支払うこと）には、便宜上掛け取引を行いたいのです。

「取引先と掛け取引ができれば、もっと商品が売れるのに！」。そんな企業のニーズを形にした企業が、「クロネコヤマトの宅急便」で有名なヤマトホールディングスです。

企業間では与信（強い信頼関係）があれば、掛け取引が頻繁に行われます。スムーズな決済を行うことで、取引量は増えていきます。そこでヤマトホールディングスでは、「クロネコ安心決済サービス」を開発しました。このサービスはヤマトが出資する企業、「ファインクレジット」が請け負います。具体的には、クロネコヤマトの宅急便を利用するメーカーと、小売店への決済を仲介することを行います。

ヤマトは物流を代行するだけではなく、決済も代行することにしたのです（下図参考）。



◆2012年6月現在の安心決済サービスの登録企業数は1万4000社

◇2017年までに登録企業数を10倍の14万社にすることをめざす

「クロネコ安心決済サービス」導入したことで、ヤマトではメーカーの掛け取引リスクや手間を負担してあげたのです。決済を代行するファインクレジットでは保証料や、事務手数料が収入になります。これにより、メーカーも販売を拡大することができました。もっとも効果的なことは、メーカーの販売が拡大されることです。物流が増えることです。これによりヤマトの収益も増し、お互いが Win-Win の関係をつくりあげることができるのです。